

射水市民病院の概要

射水市民病院は、昭和50年度にその前身である新湊市民病院として現所在地へ移転新築した後、平成9年度に新しく病棟を建設、その翌年度には診療棟を改築し病床数200床（一般195床、結核5床）、診療科12科で新たに診療を開始しました。その後、平成17年度の市町村合併により「射水市民病院」に改称しました。

現在は、病床数199床（一般195床、結核4床）、診療科14科の診療体制で、住民に身近な医療機関として一次救急から二次救急までの救急医療を担うとともに、地域の中核病院として循環器を中心とした良質な医療を提供することで地域医療の確保に努めています。

◆理念・基本方針

「理 念」

生命を尊重し 患者一人ひとりに最適な医療を提供する

「基本方針」

患者個人の尊重

- 1 患者の最も利益になる医療を実践する
- 2 常に患者とともにある医療を実践する
- 3 十分な説明と同意に基づく透明性の高い医療を実践する

最適な医療

- 1 科学的根拠に基づく個別医療を実践する
- 2 安心と希望を与える医療を実践する
- 3 医療の安全管理に最善の努力をする
- 4 よりよい医療への高い理想を持ち精進を怠らない

地域への貢献

- 1 地域の医療・福祉・保健機関と相互協力する
- 2 職員が誇りと夢を持てる病院にする
- 3 健全で特徴ある病院運営に努力する

◆病 床 数：199床（一般病床195床、結核病床4床）

うち急性期病床 100床

うち回復期病床（地域包括ケア） 99床

※平成29年5月より

- ◆診療科：①内科、②循環器内科、③外科、④整形外科、⑤脳神経外科、⑥小児科、⑦眼科、⑧耳鼻咽喉科、⑨皮膚科、⑩泌尿器科、⑪婦人科、⑫麻酔科、⑬歯科口腔外科、⑭放射線科（14診療科）
- ◆併設施設：①心臓血管センター、②人工透析センター、③健康管理センター、④訪問診療・看護・リハビリテーション、⑤外来化学療法室、⑥地域連携室、⑦医療機器管理室、⑧医療安全管理室

◆施設の概要

- 所在地 射水市朴木 20 番地
- 敷地面積 23,752 m²（南側駐車場含む）
- 延床面積 16,467.3 m²
 - ・病棟（平成10年4月完成）
 - 構造 鉄筋コンクリート造 地上7階
 - 延床面積 9,252.9 m²
 - ・診療棟（平成27年11月完成）
 - 構造 鉄骨造 地上3階（一部6階）
 - 延床面積 6,978.5 m²
 - ・厚生棟（平成29年2月完成）
 - 構造 鉄骨造 地上1階
 - 延床面積 235.9 m²
- 主要な医療設備
MRI、CT、血管連続撮影装置、電子カルテシステム、放射線情報システム、放射線画像保存通信システム 等